



港区立高松中学校 学校だより〈第4号〉

令和2年7月1日 校長 鋸持 利行

創立1949年(昭和24年) 〈高松中生のあたりまえ〉推進校 港区高輪1-16-25

本日から通常登校

副校長 鈴木 格也

本日、7月1日(火)より通常登校となりました。

3月2日(月)から始まった臨時休校から今日に至るまでに、5月7日(木)からの臨時休校の継続、6月1日からの分散登校による学校再開、6月8日(月)からは給食活動が始まりました。歴史的に振り返ると、1918年にあったスペイン風邪(A型インフルエンザウイルス)は、世界的に猛威を広げ、日本でも多く人が被害を受け、尊い命を失いました。そのため、当時の学校でも臨時休校となったとの資料を読みました。2020年の新型コロナウイルスも同様にして、私たちは歴史的に殆ど経験したことのないことに直面しています。

休校明けの分散登校では、いつもの登校とは異なり、奇数番号と偶数番号の生徒が朝からの登校と給食前からの登校に分かれ、3時間の授業を受けました。通常の学校生活とは異なり、休校明けも重なって、学校の生活時間に合わせた生活が辛かった人もいたと思います。高松中学校の先生も午前と午後の授業時間を合わせて6時間進めることは、職員室に戻って一息つく間もなく、大変な様子でした。用務業務員さんも、感染予防対策のために、朝早くから廊下やトイレ等の窓ガラスを開けて校舎の換気に努めてくれたり、廊下と階段の手すり、教室やトイレの照明スイッチ、戸口の取っ手等の消毒作業にあたってくれたりしています。栄養士さんも感染予防対策をとっている中で、美味しく栄養のある給食メニューを工夫したり、給食調理さんもいつもより少し早い給食時間に間に合わせるために、朝から頑張ってくれたり頑張ってくれました。また、ランチルームを衛生的に管理するために、テーブルと椅子等の消毒作業は栄養士さんと各先生が行ってくれました。保護者の皆様におかれましても、これまで子供を分散登校させるにあたり、ご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。通常登校となりましたが、今後も学校は、これまで私たちが経験したことのない新しい生活様式(マスクの着用、ソーシャルディスタンス、手洗い手指の消毒、三密の回避等)に取り組みます。ご家庭におきましても、登校前の検温、健康チェック(せきなどの風邪の症状)、マスクを着用しての登校にご協力ください。なお、風邪の症状がある場合は、自宅で休養させてください。



【給食活動の様子】



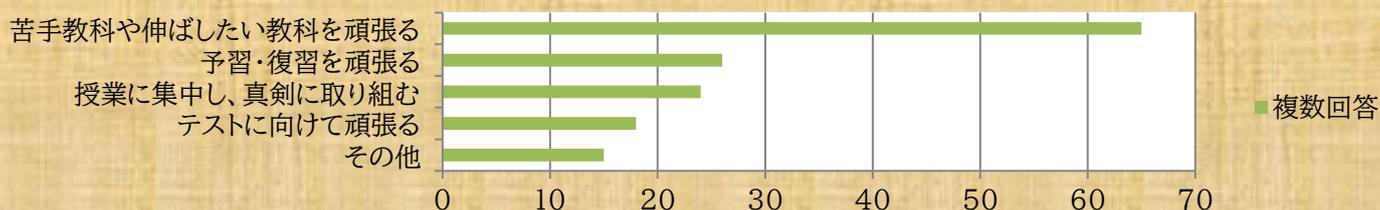
【社会科の授業の様子】



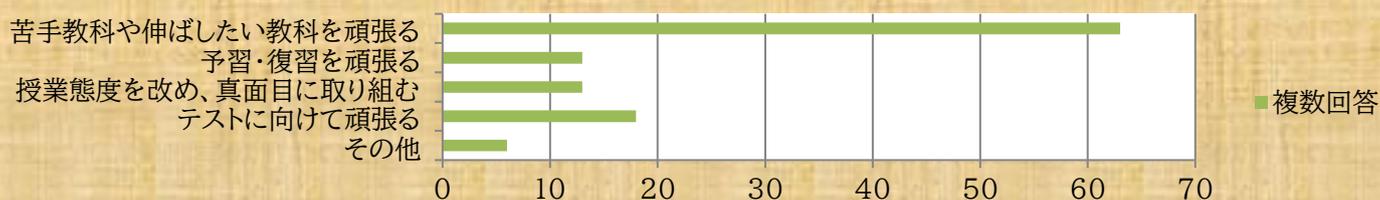
【学級活動の様子】

Q1. 学校再開後に学習面で頑張ろうと思っていることは何ですか？

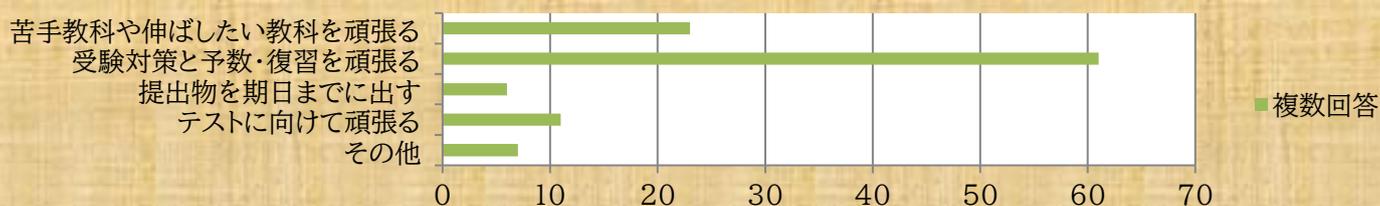
1年生



2年生



3年生



不安に思っていることはありますか？との質問では、全学年共通して、授業についていけるかとても不安との回答が最も多くありました。その他、2年生では学力が落ちていないか心配しているとの回答が複数あり、3年生でも学習の遅れを取り戻せるか、受験に不安があるとの回答が複数あがりました。

Q2. 学校再開後に生活面で頑張ろうと思っていることは何ですか？

全学年共通して、早寝早起きや食事を摂るなどの規則正しい生活を送ることについて、最も多い回答がありました。その他、学年別に複数回答あった内容は、1年生では新しい友達をつくることや部活動を頑張ること、時間を意識して行動できることでした。2年生ではうがい手洗いをすること、友達関係を深めること、委員会活動と学校行事を頑張ることでした。3年生でもうがい手洗いをすること、体調管理をしっかりとやること、行事や委員会、部活動に全力で取り組むこと、まとまりのある良いクラスをつくることでした。

不安に思っていることはありますか？との質問では、1年生では長いこと人と会話をしていないのでどうやって仲良くするのか忘れてしまったような気がするといった友達をつくることに自信がもてない回答が複数ありました。また、1年生と3年生では、規則正しい生活が送れるか心配する声も複数ありました。2, 3年生では通常通りの部活動ができるのか、このまま引退してしまうのかとの回答が複数ありました。

Q3. 休校期間中、家で頑張ったこと、続けていたことは何ですか？

全学年共通して最も多い回答は、学校の課題などの家庭学習に取り組んだこと。続いて、運動すること、家事手伝いでした。また、家庭生活で不安に思ったことについては、両親などがコロナの病気にかからないか心配しているといった家族を思いやる回答が複数ありました。